

社内改革に挑み、掴んだ新規受注

太平化成工業 株式会社

〒011-0951 秋田県秋田市土崎港相梁町字浜ナシ山6-1
TEL 018-845-0442 FAX 018-857-0778 / <http://www.taiheikasei.com>



「変わることで
会社が良くなる
ことが嬉しい」と
大坂さん

新規分野の受注を視野に 昔ながらのやり方を刷新



改善活動推進委員会の立ち上げ

高い技術と資格を持った技能士が数多く在籍する県内有数のメッキメーカーである太平化成工業株式会社。ここで社内の業務を改善すべく、大坂さんを始めとした各部署のキーマンを集めた“改善活動推進委員会”が立ち上がったのは昨年12月のことだ。

「きっかけは、県から紹介された愛知県の手自動車部品メーカーとの取引中に受けた現場視察です。我々が長年、問題なく進めていた業務でも第三者から見たら、多数の改善の余地があると指摘を受けました」。

視察の翌月には、品証・製造・営業で構成された委員会に、活性化センターのアドバイザーを含めた改善会議を開催。指摘された項目は多岐にわたったため、QC工程表に基づいて“見える化”を図り、項目・部署ごとに管理しやすいよう整えた。

特に指摘されたのは、作業員以外、誰が見ても明確に認識可能な“表示”と工場内の製品や部品の配置計画。この見直しには現場で働く従業員からの反発もあった。

「何十年も問題なくやってきたことをいきなり変えてくれというわけですから、現場の不満や言い分もわかりますし、求められた理想が高すぎて正直不安もありました。でも、変わることで新規受注に繋がり、会社がより良い方向に進めるのであればやり遂げたいと思いました」。

改善を続けて、更なる発展へ

立ち上げからは1ヶ月に1回のペースで会議を繰り返して、新規受注の製品を扱う工場内は見違えるように整った。また、大手の大量発注と細やかな生産調整に対応すべく、生産管理部門を設けたのも新しい取り組みだ。この部門は委員会の中でも若手の中川さんに託されている。

「中川主任は若いながらも改善の中心メンバーとして熱心に動いてくれています。まだまだ改善すべき点は多く、弊社は他にも県内に工場がありますので、今後は同様の改善を水平展開していきたいと思っています。さらなる効率化のため、IoT化も視野にいれていきたいですね」。

新規分野への参入や時代の変化を好機と捉え、変革を厭わず見事受注に結び付けた太平化成工業。その挑戦はまだまだ続いていく。



「狭い場所を狭く使っている」と指摘された工場内。右は改善後。

事業概要

自動車産業への参入支援

県内企業と自動車メーカーや部品メーカーとのマッチング、新技術・新工法の芽出し、域内連携の構築などを支援します。

お問い合わせ

取引振興課

TEL.018-860-5623